

看護学科

1年

科目名：精神看護学概論				担当教員 氏名：上野 栄一	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 後期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：					
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
心と体の健康について学び、心の健康を阻害する要因や維持するために必要な知識を学ぶ。また、精神看護の歴史を振り返り、今社会に求められている精神看護とは何かについて学び精神看護の在り方について考え実践できる能力を身につける。				精神看護、精神科看護、行動制限 精神保健福祉法、心の健康と障害、人権擁護	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8. 9	
A 知識・理解力	・精神科疾患患者に対する社会の理解と対応について、歴史的変化の過程を知る。 ・精神保健に関係する法制度の変遷を理解し、人権尊重の意味を理解する。				
C 論理的思考力	・こころの健康に影響する要因について理解し、精神障害者への対応について述べるができる。				
G 倫理観	・精神科疾患をもつ患者に対する社会的な問題を理解し、人間尊重を基盤とした援助の在り方を考える。				
F チームワーク・リーダーシップ	・精神障害者の地域社会への参加や共存の具体的方法を理解する。				
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： 70 %	レポート： 10 %	発表： 10 %	実技試験： %	その他： 10 %	
特記事項： ・授業への参加姿勢や出席状況、その他を総合して評価する。 ・アクティブ・ラーニングの一環として、DVD鑑賞後グループ討議と発表を行う。					
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： レポート、試験は後日、返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容		学習に必要な時間(分)
①精神障害についての基本的な考え方、精神保健医療福祉に関する法律			【予習】シラバスの確認。①第1章、第10章参照 【復習】①1章を復習する		予習60分 復習60分
②精神疾患の特徴、心の理解、ライフサイクルと精神保健			【予習】①第3章、第4章を予習する。 【復習】①②の特徴をノートにまとめる。		予習60分 復習60分
③精神看護における対人関係：現代社会とこころ			【予習】第5章を予習。現代社会の問題をまとめる。 【復習】②③の特徴をノートにまとめる。		予習60分 復習60分
④精神科医療の特徴と精神科看護、精神科医療における倫理と人権擁護			【予習】①第9章、第11章参照 【復習】①第9章、第11章を復習として読む。		予習60分 復習60分
⑤危機とストレスマネジメント、リエゾン精神看護			【予習】①第2章、第6章、第12章を参照 【復習】①第2章、第6章、第12章を復習として読む。		予習60分 復習60分
⑥精神障害者の家族の理解と支援について、地域における精神看護			【予習】①第7・8章参照 【復習】①第7・8章を復習として読む。		予習60分 復習60分
⑦精神の健康とは何かについてのグループ討議			【予習】①第1章、第2章参照 【復習】①第1章、第2章を復習として読む。		予習60分 復習60分
⑧精神の健康とは何かについてのグループ討議の発表			【予習】①討論内容をまとめる 【復習】①第1章、第2章及び討論内容を読む。		予習60分 復習60分
※試験は、別日に実施とする					
使用テキスト： ○精神看護学(1)：情緒発達と精神看護の基本 (ナーシンググラフィカ) ○精神看護学(2)：精神障害と看護の実践 (ナーシンググラフィカ) ○看護のための精神医学 第2版 中久夫、山口直彦 (医学書院)			その他参考文献など： 国民衛生の動向		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・精神的な健康問題は、多種多様で増加傾向です。こころの病は、現代病とも言えます。本授業でこころの病を理解するとともに、どのような援助が必要なのかを主体的に学んでください。					